

住宅バリアフリー 改修助成制度受付中

「階段に手すりを付けたい」「床の段差をなくしたい」「和式便所を洋式便所に改修して使いやすくしたい」など、「バリアフリー化」を目的とした住宅の改修に対し、費用の一部を助成します。

◆助成対象者 ①市内の住宅に居住する方（賃貸住宅の場合は、改修について所有者の承諾を得ていることが必要です）、②市内に本店、支店または主たる事業所を有する建築関連業者にて、5万円（消費税額を除く）以上の工事を発注する方。

◆助成金額 改修工事に要した費用（消費税額を除く）の10%で、15万円を限度。

◆助成対象工事
①手すりの取付け、②段差などの解消、③滑りの防止および移動の円滑化などのため通路面の変更、④引き戸などへの扉の取り替え、⑤そのほか①～④に附帯して必要となる工事。

◆工事契約前に関係書類を添えて、まちづくり建築課6内線2867へ申し込む。

有料道路における 障害者割引制度の改正

た。①は障害者手帳・登録する車の車検証・運転免許証（障害者本人が運転する場合のみ）・割引証（すでに交付されている方のみ）を持参し地域福祉課障害者福祉係（市役所1階⑨番窓口）で手続をしてくだささい。②は同係へお問い合わせください。

※すでに交付した割引証は、平成16年5月31日（月）までは、これまでどおりご利用できます。

↓同係6内線2619

在宅介護支援センター
介護教室

◆痴呆という病気くその特徴とお世話の仕方
弘済園在宅介護支援センター、三鷹市立牟礼在宅介護支援センター、在宅介護支援センター主催。

オムツを減らす看護・介護について、分かりやすくお話しさせていただきます。

▽12月20日（土）午後2時～4時、三鷹市教育センターにて、講師はNPO法人市民の立場からのオムツ減らし研究学会理事長の田中とも江さん。

市は乳がん検診にマンモグラフィと超音波断層撮影が導入されて、約3カ月が経過しました。この間、受診された市民の方の中から数名の乳がんの方が発見され、すでに治療が開始されています。従来の視診、触診法に比べて、飛躍的に発見される率が増えています。今まで一度も画像検査をお受けになつたことのない方が多数おおいでなるため、今後もしばらくはご自分で見つけることのできなかつた方や、触診法で発見されなかつた比較的早期の乳がんが、画像検査で発見され、早期の治療に結びつくことが期待されます。

近年、乳がんは30～50歳代の女性にとつて、もっともかかりやすいがんとなつてきています。昨今のマスコミで乳がん検診の重要性が報道され、市民の方の意識も高まってきましたが、まだまだ欧米各国に比べ、わが

国では乳がん検診受診率が低いのが現状です。今回導入された市の方法では、マンモグラフィか乳腺超音波撮影のどちらかを選択するようになってきています。どちらを選べばより有効性の高い結果が得られるかという質問が多く寄せられていますので、それぞれの利点と欠点について述べたいと思います。

まずマンモグラフィです。低い電圧の放射線を当てて脂肪の多い乳腺の陰影をX線フィルムに記録する方法です。乳房を2枚の板の間にはさんで強く圧迫し、撮影します。そこで得られる代表的な所見は2つあります。ひとつは腫瘍そのものの影、もうひとつはがん組織の石灰化です。多くの乳がんは放射線をさえぎるしこりであるため、放射線を通しやす脂肪組織の中か

画像検診が導入された乳腺検診 マンモグラフィと乳腺超音波撮影について

ら浮き上がって写ります。加齢とともに乳房は脂肪に置き換わっていくため、閉経後の方においてはしこりがはつきり映し出されませんが、閉経前の比較的若い年代の方は、乳腺組織が発達して、放射線をさえぎるしこりやすくなり、しこりの見分けがつきにくくなります。もうひとつの所見、石灰化はがん組織の死核で、それをレントゲンに捕らえて映し出すことができるのが、マンモグラフィの大きな特徴でもあります。この石灰化は閉経以前の比較的に若い方でも描出することができ、さらにフィルムに記録する方法のため、客観性が高く再評価が可能です。反面、わずかながら放射線を浴びるこ

と、撮影時に乳房をばさむ時の痛みが伴うことがあります。

乳腺超音波断層撮影は、超音波を用いて組織からの音波の跳ね返りを画像として映し出す方法で、子宮内の胎児を写すことができます。ここで存知の方が多く、しこりが見えなくても、人体に無害で何れでも行うことができます。

そして乳管の変化です。腫瘍の陰影は超音波の反射が正常の乳腺組織と異なるため、円形に近い影となつて現れます。マンモグラフィに写りにくい若い年代の方でも容易に腫瘍影として映し出すことができます。乳がんは乳管の中に発生し、これに沿って広がる特徴があるため一部の乳管が拡張して見られると、異常所見として読み取ることができ、マンモグラフィにはない特徴です。反面、乳腺の発達している部分では腫瘍影との見分けがつきにくいこと、小さな石灰化がみつけないことが難点といえます。若い年代の方では妊娠に対する心配も無く、痛みが無いために広く用いられています。

この検査で見ることのできる特徴的な所見は、腫瘍の区分で診断され、5段階

◆いずれも当日直接会場へ。地域福祉課地域福祉係（市役所2階⑨番窓口）にあります。係6内線2623

恩給欠格者、引揚者の方へ
恩給欠格者、引揚者の方に、内閣総理大臣名の書状などを贈呈しています。請求書類は www.neiwa.go.jp/。 0-234-933-JURLhttp://www.neiwa.go.jp/

12月の環境食品衛生出張窓口はお休みします
三鷹武蔵野保健所生活衛生課54-2161



グループホームの仲間と練習
全国障害者スポーツ大会（卓球）で井の頭の土橋さんが3年連続優勝

11月8日～10日、静岡県で開催された第3回全国障害者スポーツ大会の卓球部門で、井の頭の土橋幸江さんが見事3年連続優勝に輝きました。

この大会は、昭和40年から毎年開催されていた全国身体障害者スポーツ大会と、「国連・障害者の10年」最終年の平成4年に始まった全国知的障害者スポーツ大会が統合された国内最大の障害者スポーツの祭典。陸上、水泳、卓球、アーチェリー、ボウリング、フライングディスク、車椅子バスケットボール、バスケットボール、ソフトボール、バレーボール、サッカー、フットベースボールの13種目で都道府県の子選を勝ち抜いたみなさんが集い、技を競い合うものです。

土橋さんが卓球を始めたのは、養護学校を卒業した7年前。「何か始めたい」と相談した担任の先生が卓球をしていただくことになり、卒業後も月に数回学校に通い、先生に卓球を習いだしたのがきっかけでした。その後、先生が学校を

二鷹武蔵野 保健所
54-2161

継続優勝という素晴らしい成績です。「3回ともあつさり優勝できてしまった感じで、もっと強い人と対戦していきたい」と、今後への意欲も満々の土橋さんですが、これまでの大会でいちばん嬉しかったのは、昨年と一昨年の全国大会に仲間と一緒に出場できて、昨年は青年女子の部で土橋さんが金メダル、壮年男子の部で仲間が銀メダルをとれたことだといっています。

土橋さんは現在はグループホームから自立し、日中は働きのながらひと暮らしをしています。卓球のほかにも、調布の作業所職員の率いるサッカーチームに参加したり、味の素スタジアムでサッカー観戦を楽しんでいます。これから「ピエロ」のかしらで練習を続け、いつかお金を貯めて、障害者の世界大会に出場してみたいと夢を語ってくれました。

あたたかい善意

- 一般寄付 (敬称略)
- 5千円 井口三男
 - 1万円 前川清子
 - 1万円 井の頭ダンスフェスティバル実行委員会
 - 2千円 田辺和子
 - 3万円 の崎H・Y
 - 500円 故 関口博信
 - 1万8千円 東京都自転車商協同組合三鷹支部
 - 5千円 大谷誠
 - 19万1千円 障害者(児)運動会実行委員会
 - 3万5千円 フリーマーケット運営委員会
 - 3万円 五関美智子
 - 1万円 鈴木聡子
 - 4万1千500円 成商店会
 - 3万5千500円 山口福美後援会
 - 1万2千500円
- 愛の一円玉募金
- 2千600円 四ツ葉とさわくら
 - 600円 上三親交クラブ
 - 3千100円 三鷹市赤十字奉仕団
 - 1千900円 明寿会
 - 493円 下連寿会
 - 300円 高砂会
 - 700円 くぬぎ会
 - 800円 さつき長寿会
 - 1千600円 北野四丁目観音寺
 - 5千980円 大沢福寿会
 - 700円 中原三葉会
 - 1千300円 連雀クラブ
 - 4千400円 だるまライオン
 - 1千800円 匿名(1件)
- 福祉基金
- 1万円 宍戸隆介